



平成 21 年 3 月 24 日

各 位

会社名 イズミヤ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 林 紀 男
 (コード番号 8266 東証、大証第1部)
 問合せ先 取締役上席執行役員
 秘書・広報室長 田中 博和
 (TEL. 06-6657-3310)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 10 月 8 日に公表しました平成 21 年 2 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 2 月期 業績予想数値の修正(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(1) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	342,000	4,300	3,700	1,100
今回修正予想 (B)	337,180	2,760	2,170	330
増減額 (B-A)	△4,820	△1,540	△1,530	△770
増減率	△1.4%	△35.8%	△41.4%	△70.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 2 月期)	339,870	3,567	2,990	1,739

(2) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	386,000	7,200	6,000	2,200
今回修正予想 (B)	381,130	5,330	4,180	960
増減額 (B-A)	△4,870	△1,870	△1,820	△1,240
増減率	△1.3%	△26.0%	△30.3%	△56.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 2 月期)	381,066	6,794	5,551	2,010

2. 業績予想修正の理由

(1) 個別

昨年 9 月の米国発の金融危機が実体経済に波及し、雇用情勢の悪化へと発展したことから消費者の節約志向が益々加速し、衣料品や家電、ホームファニッシングなどの中・低頻度品から買い控え傾向が表れ、前回公表時に想定していた数値と大きく乖離いたしました。また、内食化傾向で好調に推移しておりました食料品や日用品も 1 月後半から失速し、既存店ベースで昨年を割り込み当初の想定を下回りました。これらの結果、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益を前回公表値より修正いたします。

(2) 連結

上記、個別業績の減収・減益要因に加え、同様な理由で(株)テンファッションズや(株)ペリカンなどの中・低頻度品での物販小売業が、当初の想定を下回りました。これらの結果、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益を前回公表値より修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上